

公共交通を利用しましょう!

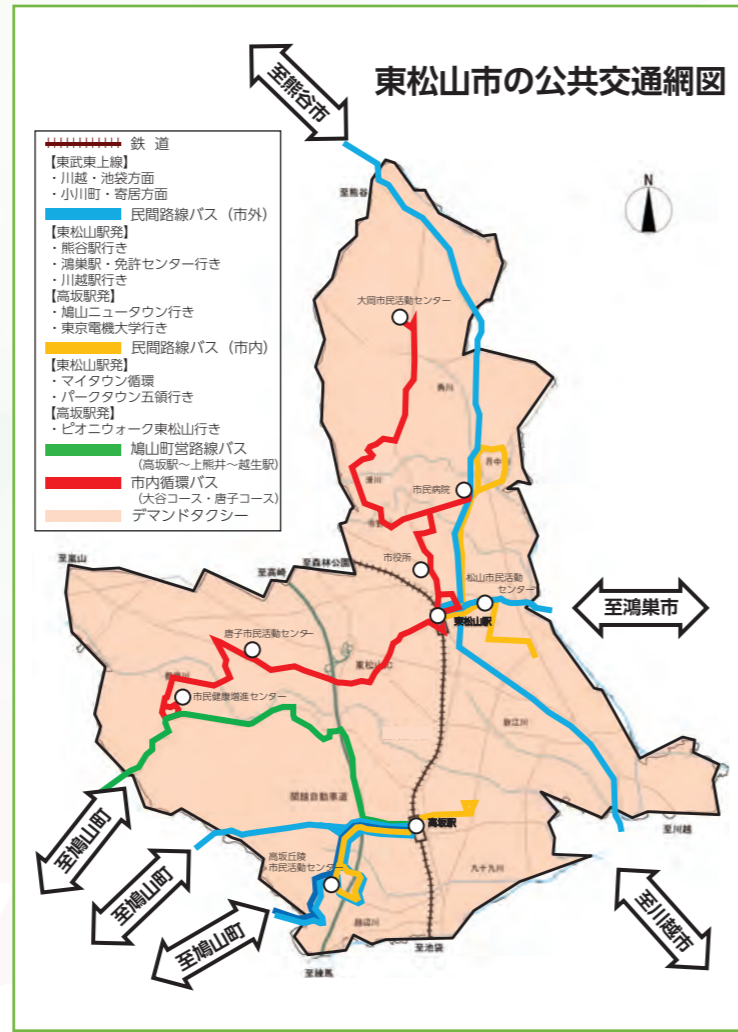
東松山市の公共交通

東松山市内には東武東上線の「東松山駅」「高坂駅」の2つの駅があり、都心や県北部へ鉄道で移動することができます。また、両駅からは民間路線バスが運行し、市内各所、近隣の市や町へアクセスすることが可能です。これらの鉄道・民間路線バスやタクシーのほか、市が運行する市内循環バスやデマンドタクシーを併せて東松山市の公共交通は成り立っており、市民の通勤・通学、買い物、通院などの日常生活を支えています。

公共交通をめぐる環境は、人口減少や少子高齢化に伴う利用者数の減少、バスやタクシーの運転手不足などにより厳しくなっており、全国的に減便や路線の廃止、運行時間の短縮などが見られます。高齢化が更に進み、自家用車の運転が難しくなる市民が増えると考えられる今、公共交通は多様な世代が快適に暮らすために欠かせない生活基盤です。

今は自家用車による移動が多くても、将来、公共交通を必要とするときがくるかもしれません。そのときまで公共交通を守るため、必要以上に自家用車に頼らず、少しでも公共交通を利用してみませんか。

今回の特集では、主に「市内循環バス」と「デマンドタクシー」を紹介します。



市内循環バス



市内循環バスは、大谷コース(大岡市民活動センター⇄市民病院⇄東松山駅東口)、唐子コース(市民健康増進センター⇄唐子市民活動センター⇄東松山駅東口)の2路線で運行しています。2台の市内循環バスに市の特産品の梨と市内の県こども動物自然公園にいるコアラがそれぞれ描かれています。

平成27年12月にデマンドタクシー(4ページ参照)が市内全域で運行を開始したことを契機に、平成29年10月に市内循環バスの位置付けと役割を大幅に見直し、現在の2路線に再編成しました。運行便数が増えたこと等により利便性が向上し、利用者数は増加しています。

※往路、復路ともに1日あたり9便です。

※路線マップ、時刻表、バス現在位置情報検索システムは市HP

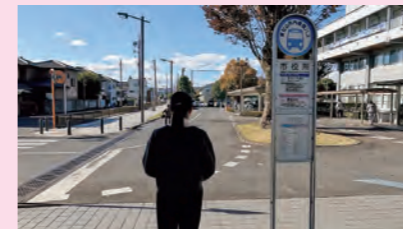


市HP(市内循環バス)

運行日 月～土曜日(日曜日、祝日、12月29日～1月3日は利用できません)

料金 100円※小学生以下、障害者(障害者手帳を提示)とその介助者は無料
※交通系ICカード(Suica・PASMO)が利用可能

乗り方



①バス停で待つ



②後ろの扉から乗車



③降りるバス停が表示されたら近くの降車ボタンを押す



④運賃箱で支払いをして前の扉から降車

動画を作成しました。ぜひご覧ください。



動画(YouTube)

公共交通のメリット

運動量向上

徒歩での移動距離が短い自家用車に比べ、電車やバスを利用すると駅やバス停からの移動で歩く機会や距離が増えて、日常的に運動量が多くなります。自家用車利用を少し控えて、公共交通を利用して歩く機会を増やすことで健康増進につながります。



環境にやさしい

一度に多くの人利用する電車やバスは、一人あたりの移動にかかる二酸化炭素を削減できます。LPガスを燃料として走るタクシーもあり、ガソリン車より二酸化炭素の排出量が比較的少なくなっています。公共交通の利用は、地球温暖化対策に貢献できる身近な方法の一つです。



安心・自由な時間がもてる

公共交通を利用すれば、自家用車の運転に比べて体調が優れないときでも安心して移動することができます。また、乗車中の時間は読書や勉強、音楽を聴くなど自由に使えます。



家計にやさしい

市内循環バスやデマンドタクシーは、低料金で移動できるサービスです。さらにデマンドタクシーから市内循環バスに乗り継ぐと、市内循環バスの利用料金が無料になります。

自家用車は様々な維持費が必要になります。公共交通と比較してみても良いかもしれません。



デマンドタクシー



デマンドタクシーは、利用する皆さんの希望する時間や場所の要望(デマンド)に低料金で応じる公共交通です。

自宅から、商業施設・医療機関・金融機関・公共施設など市内500か所以上の乗降ポイントに行くことができます。ポイントからポイントへの移動もできますが、ポイント以外での途中下車や寄り道はできません。

利用できる人

東松山市民(住民登録されている人)
 ※中学生以下は、登録できません。
 ※登録者が1人いれば、未登録の人、市外の人
 も同乗可能です。

運行区域

市内の乗降ポイント(500か所以上)、森林公園
 駅、つきのわ駅、武蔵嵐山駅
 ※利用は
 ①自宅前から乗降ポイント
 ②乗降ポイントから自宅前
 ③乗降ポイントから乗降ポイント
 の3種類になります。
 市内の乗降ポイントは、[市HP](#)をご確認ください。

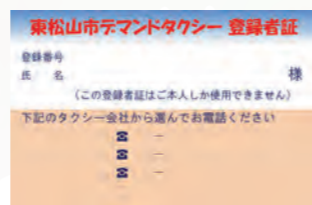


POINT! よりお得に 利用する方法

- デマンドタクシーから市内循環バスに乗り継いだ場合、市内循環バスの利用料金(100円)が無料になります。詳細は[市HP](#)をご確認ください。
- 利用料金は、1人の乗車でも、同乗者がいても同じです。友人・知人と一緒に乗れば割安になります。動画を作成しましたので[市HP](#)からご覧ください。

利用者登録方法

デマンドタクシーを利用するには、あらかじめ登録が必要です。
 地域支援課又は[市HP](#)にある「利用者登録申請書」に必要事項を記入の上、地域支援課又は市民活動センターに提出してください。
 登録が完了したら、ご自宅に「登録者証」を郵送しますので、到着以降、利用できます。
 ※申請書の提出から登録者証の郵送までに、2週間程度かかることがありますので、手続きはお早めをお願いします。
 ※乗車の際は必ず登録者証を提示してください。登録者証がないと利用できません。



[市HP](#)(デマンドタクシー)

運行日時

月～土曜日午前8時30分～午後5時(日曜日、
 祝日、12月29日～1月3日は利用できません)

利用料金

運賃及び迎車回送料金の合計額	利用料金
1,000円未満	500円
1,000円以上2,000円未満	800円
2,000円以上3,000円未満	1,000円
3,000円以上	1,500円

※時間指定配車料金(予約料金)は別途、利用者の負担です。
 ※支払いは現金のみです。
 ※障害者(身体障害者手帳・療育手帳を提示)、
 運転免許返納者(運転経歴証明書を提示)は運賃
 と利用料金が1割引

東松山市地域公共交通会議会長メッセージ 「皆で考え、皆で実践」

東松山市には、鉄道・民間路線バス・市内循環バス・タクシー・デマンドタクシーといった様々な公共交通が展開されています。しかし、人口減少や運転手不足などにより、公共交通を取り巻く環境は今後ますます厳しくなることが予想されます。現在利用している人だけでなく、これまで公共交通を利用されていない人も含め、市民一人ひとりが公共交通の維持について真剣に考え実践することが必要です。

鉄道やバスなど、大勢が乗車できる公共交通を積極的に利用することで、交通サービスの維持だけでなく、地球温暖化の抑制にも貢献できます。また、買い物際には、行きは身軽なためバスを利用し、帰りは荷物が多いためデマンドタクシーを活用するなど、状況に応じて交通手段を選択することで、市財政の負担軽減や交通サービスの維持につながります。



東松山市地域公共交通会議 会長
 東京電機大学 理工学部 教授 高田 和幸さん

一方、自家用車の利用を1日控える「カー・フリーデー」は「モビリティ・ウィーク」へと発展し、公共交通・自転車・徒歩などを活用した持続可能な都市や交通を考える1週間のイベントとして、世界各地で実施されています。「花とウォーキングのまち東松山」の市民の皆様には、自家用車に頼りすぎない、人にやさしいまちづくりについて考え、できることから行動していただけると幸いです。

バス・タクシーの運転手不足の状況(2024年問題等)

新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通の利用者は減少し、交通事業者の経営状況は厳しさを増しています。また、時間外労働の上限規制や改正改善基準告示の適用(いわゆる2024年問題)によりバス運転手の不足はより深刻化しており、タクシー運転手についてもドライバーの高齢化やなり手不足の状況が続いています。

地域の公共交通を維持していくためには、バス・タクシー運転手の確保が必要不可欠です。東松山市内を運行する交通事業者では、運転手を募集しています。公共交通の担い手として地域社会に密着し、人々の生活をサポートする仕事について考えてみませんか。詳細は各事業者[HP](#)をご確認ください。



川越観光自動車株式会社 [HP](#)



国際十王交通株式会社 [HP](#)



東武バスグループ [HP](#)



タクシー



バス



イグチ交通株式会社 [HP](#)



観光タクシー有限会社 [HP](#)



有限会社東松山交通 [HP](#)

公共交通はみんなの財産

公共交通の充実は、単に移動手段の確保だけでなく、外出機会を生み出し、社会参加や生きがいの創出につながります。また、人の移動が円滑になることで、地域の活性化の効果も期待できます。さらに近年では高齢化の進展等から公共交通の重要性が増しています。

市では、令和6年3月に「東松山市地域公共交通計画」を策定し、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの形成と、地域の暮らしを支える移動手段

確保のための事業を進めています。
 市民の日常生活に大切な公共交通ですが、利用者がいなければ減便や路線廃止となってしまう可能性もあります。私たちに今できることは、公共交通の現状と課題を理解し、目を向けることです。まちの未来を守るために、公共交通を利用しましょう！



東松山産業祭「バス乗り方教室」の様子

特集に関する問合せ 地域支援課 ☎21-1435 FAX 22-7799